



1 学年通信

第3号

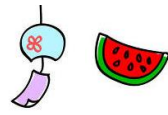
令和元年7月16日発行
福岡県立久留米高等学校
校長 木本 和宏
第1学年主任 野本 智

『クイズ』

1年3組担任 泉 楓香

期末考査が終わりました。考査前には、職員室前や教室で勉強に励む姿がよく見られました。また、朝課外の時間帯に、自主的に学校へ来て勉強する生徒も多く、そういったクラスメイトの頑張りに背中を押されて頑張れた人もいるのではないのでしょうか。

もうまもなく夏本番です。暑さがよりいっそう厳しくなっていく中、夏と言えば思い出すのがふわっと香る蚊取り線香の香り・・・さて、突然ですがクイズです。



「1時間で燃え尽きる蚊取り線香があります。この蚊取り線香で、1時間45分を測るためにはどうすればいいのでしょうか。」

テレビをつけると多くの局でクイズ番組が放送されています。

クイズには頭のよくなるコツが隠れているようです。脳が効率よく働くためには「嬉しい」「楽しい」というプラスの感情が必要です。クイズというと、わくわくするようなゲーム性があり、楽しい感覚になります。これがプラスの感情につながります。その感情は脳が新しい情報を吸収していこうとする働きを活性化させてくれるのです。一方で、できる問題ばかりでは、脳はできることになれてしまい、次の問題に挑戦しようとしなくなります。そういうときになかなか解けない問題にレベルアップすることで、解けない悔しさが「できるようになりたい」という意欲の維持につながっていきます。また、クイズ王と呼ばれる人がいるように、考える経験を重ねると、短時間で解答できるように脳が発達していきます。

このコツは勉強でも活かさないのでしょうか。高校の勉強はなかなか解けない問題ばかりで、頭を悩ませることが多いかもしれません。しかし、出来ない分からないと口に出してしまうのではなく、何だろうどうすればいいかなと解けたときの自分を想像しながら楽しんでみてください。そのとき脳が精一杯働いてくれているはずです。苦労の結果得られた「正解」は大きなプラスの感情になるでしょう。実際そうやって勉強を楽しんでいる久高生の姿をよく見ることができます。そして徐々に「できる」を重ねていきましょう。できない問題に頭を悩ませること、出来ない悔しさを感じる事が自分の力になると思います。私も高校のころ数学の問題だった1題を3日間考え続けたことがありました。どんな問題だったかはもう覚えていませんが、解けたときの喜びと、もっと問題が解きたいと思った気持ちは今でも覚えています。できないことは、これから出来るようになることを一つ増やすためのものです。

ハーバード大学の図書館に書かれている20個の言葉の一つ
苦しんでこそはじめて進める。No pain, No gain.

『数学が苦手な君たちへ』

1年3組副担任 淵上 敦浩

高校に入学して、1学期が終わろうとしています。中学校の時に想像していた高校生活と現実の差に戸惑っている人も多いことでしょう。特に、私が教えている数学は、少しわからなくなると一気にできなくなることがあります。そこで、数学が分からなくなりつつある人や高校での成績が思うように上がらない人たちも楽しく高校生活を送ればと思い、私の高校時代の話を少し書いてみたいと思います。ただ、40年も前のことなのでどれくらい参考になるかわかりません。

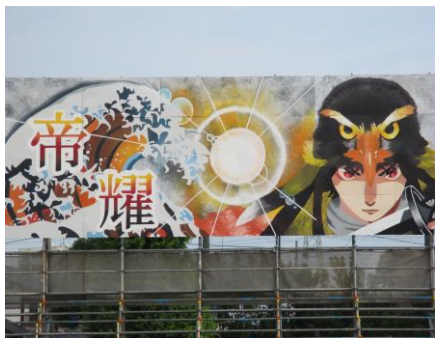
私は、小さいころから算数・数学は得意でどんな問題でもほとんど解くことができていました。逆に、国語や英語はできませんでした。特に国語は小学校のころから苦手にしており通知表は2ばかりで、文章を読んでも作者が何を言いたいのかなど全くわかりませんでした。そんな私が、入学後の1年生の1学期中間考査の結果がどうであったかというと、クラスで最下位でした。あまりよくないだろうとは思っていたものの、さすがに最下位は予想していませんでした。これはいけないなと思って自分なりに勉強はしたものの、学年の平均には全然届かず、欠点になるかならないかくらいの成績が続きました。そうすると、できるはずの数学までもが点数が取れなくなり、欠点を取るようになり、どうしてよいかわからない状態になりました。そんなとき、私には勉強を教えてくれる友人がいました。その人がいなかったら今の私はいったいどうなっていたかわかりません。それまでは数学なんかは勉強しなくてもできるもんだと思っていました。しかしながら、わからなくなると早いものですぐに点数が取れなくなりました。そんな私を見ていた友人が、「教えてやるよ。」と言ってくれました。私が質問をするとその友人は、「まずはいろんな公式を覚えるんだよ。そして、それをどのようにして使うのか使い方を覚えて練習するんだよ。1回できると次からは同じことを繰り返せばいいんだよ。」といった具合に、順序立てて教えてくれました。私は自分が理解できるまで何度も質問をしました。いやな顔一つせず最後まで丁寧に教えてくれた友人に今でも感謝しています。生徒に時々授業で言うのですが、「数学ができるようになりたいなら、数学ができる友人をつくるのが1番の近道だ。」ということを行っています。数学は、論理的に考えて結果を得る教科です。だから、結論を得るまでには筋道が必ずあります。そこをおさえないと解けるようにはなりません。公式を覚えていたのに解けなかったとか言っている生徒をよく見ますが、公式を覚えたりすることは当然であり、公式を使うところやその順番を覚えておかなければ問題を解くことはできません。それを身に着けるためには繰り返し問題を解くしかありません。時間をかけてより多くの問題を解いてください。頑張ってください。

また、全体的に成績が振るわない人は大変きついとは思いますが、成績が振るわなくても最後までやり通すしかないと思います。私は最後まで成績が上がることはなくずっと下位のほうにいました。成績があまりに振るわない生徒であり、体格も現在のものであったので校長先生にまで顔と名前を覚えられていました。しかし、当時私が教えていただいていた先生方は成績が悪いことを責めたりされることはなく、成績が上がらなくてもよいかから、腐らずに頑張るように言われました。自分ができないのではなく、周りのみんなができるんだということはわかっていましたが、先生からそのように言われると、なんだか成績が悪いことが気にならなくなっていました。成績が悪くても、そのことを先生や友達から言われることはなく、学校はとても楽しく、有意義な高校生活を送れたのではないかと思います。成績が悪くて悩んでいる人たち、できることを頑張るしかありません。こんな私でも、今高校で数学を教える立場にいます。やれることをやって、楽しい高校生活を送りましょう。

【体育祭】令和元年6月8日（土）実施

生徒全員が心を一つにした体育祭が終わってしまいました。3年生の流した涙や熱い声は、大きく1年生の心に響いたのではないかと感じています。

【練習及び体育祭風景】



【合唱コンクールの練習が始まります】



9月13日(金)に久高祭(文化祭)が開催されます。1学年はクラス対抗の合唱コンクールに臨むことになりました。各クラスで歌う曲目も決まり、これから夏季課外の合間に練習をしていくこととなります。

優勝を目指し、クラスで団結して素晴らしい合唱コンクールにしましょう!

1組	A Whole New World (アラジン)	2組	結 (miwa)
3組	春愁 (Mrs. GREEN APPLE)	4組	YELL (いきものがかり)
5組	奏 (スキマスイッチ)		

【行事予定】

7月22日(月)から夏季課外がはじまります。体調管理に留意して毎日頑張りましょう!
夏季課外は、朝8:40からのスタートです。

7月19日(金) 終業式

7月22日(月)~8月2日(金)、8月21日(水)~23日(金) 夏季課外

*8月26日(月)はスタディサポート

8月 2日(金) 出校日

8月26日(月) 始業式・スタディサポート

8月31日(土) 久高セミナー

9月 6日(金) クラスマッチ

9月13日(金) 久高祭

10月 2日(水)~4日(金) 2学期中間考査

10月12日(土) 久高セミナー

10月26日(土) 久高セミナー

11月 2日(土) 進研模試